



2023年度 環境経営レポート

(2022年11月 ~ 2023年10月)

発行日：2023年12月25日



主計管工株式会社
Shukeikanko co.,ltd.



目 次

1. 組織の概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営目標とその実績	5
4. 主要な環境経営活動計画の内容	6
5. 環境経営活動結果の評価	7
6. 環境経営目標と実績比較	8
7. 環境経営組織	9
8. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	11 12



1. 組織の概要



1) 事業所名及び代表者氏名
 主計管工株式会社
 代表取締役社長 中井主蔵

2) 所在地

* 本社	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6丁目9番5号
* 導管事業部	〒566-0043	摂津市一津屋3丁目6番10号
* ガス設備事業部	〒561-0894	豊中市勝部3丁目5番29号
* 設備事業部	〒533-0024	大阪市東淀川区柴島1丁目2番22号

3) 環境管理責任者及び事務局連絡先

環境管理責任者 : 松田 重幸

E A 2 1 事務局 連絡先 TEL 06-6349-2226
 FAX 06-6349-2024

4) 事業の内容
 給排水衛生設備工事、空気調和設備工事、消火設備、ガス設備工事、一般土木工事
 舗装工事、大型空調機器及び住宅設備機器の販売

5) 会社の規模

活動規模		2021年度	2022年度	2023年度
売上高 (百万円)	導管	1,668	1,821	1,754
	ガス設備	1,670	1,629	1,791
	設備	1,004	468	881
	合計	4,342	3,918	4,426
従業員数		105	105	105

従業員数	
本社	9
導管	39
ガス設	26
	14
設備	17
合計	105

床面積		2021年度	2022年度	2023年度
面積 (平米)	本社	368	368	368
	導管	343	343	343
	ガス設備	510	510	510
	設備	420	420	420
	合計	1,641	1,641	1,641

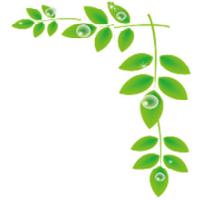
6) 登録事業所 対象範囲 : 全社

活動内容 : 給排水衛生設備工事、空気調和設備工事、消火設備、
 ガス設備工事、一般土木工事、舗装工事、
 大型空調機器及び住宅設備機器の販売

《会計月 11月～翌10月》



2. 環境経営方針



環境経営理念

主計管工株式会社は、近畿圏内を主体に、都市ガス配管工事を主力として、給排水設備工事、水道敷設工事、空調配管工事などを行っております。地球や地域の環境を守り、将来により良い社会を引き継いでいくため、事業活動における環境負荷の低減を目指すとともに、継続的改善による環境経営を推進していきます。

環境経営方針

1. 事業活動が環境に与える影響を理解し、環境マネジメントシステムの要求事項に沿って設定した環境目標の達成に努め、継続的改善を図り環境パフォーマンスを向上させる。
2. 持続可能な社会にむけて、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現、SDGsの達成に向け、再エネ、省エネなどへの取り組みを積極的に行います。
3. 事業活動における環境負荷の低減や改善を図る為、次の事項に重点的に取り組みます。
 - 1) 二酸化炭素の排出量削減の推進（電気・ガス・ガソリン）
 - 2) 廃棄物排出量の削減
 - 3) 節水の推進
 - 4) 環境に配慮した製品の販売の促進
 - 5) 化学物質の適正管理
 - 6) 非開削工法の推進
4. 環境に関する法的要求事項および同意するその他の要求事項を遵守する。
5. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。



令和3年11月25日

主計管工株式会社

代表取締役社長 中井 主蔵

3. 環境経営目標とその実績



その1) 事業所全体編

本社・摂津 内管・設備 各営業所の合計		基準年度 2014年目標	2023年 年間目標	2023年 実績	2024年 年間目標	2025年 年間目標	2026年 年間目標	2027年 年間目標
CO ₂ の 排出量 の削減	A 電力 使用量の 削減 kWh	145,000	123,975 (14.5%削減)	135,465	123,251 (15.0%削減)	122,525 (15.5%削減)	121,800 (16.0%削減)	121,075 (16.5%削減)
	B 都市ガス 使用量の 削減 m ³	15,000	14,326 (4.5%削減)	13,847	14,250 (5.0%削減)	14,175 (5.5%削減)	14,100 (6.0%削減)	14,025 (6.5%削減)
	C ガソリン 使用量の 削減 ℓ	76,300	72,866 (4.5%削減)	87,681	72,485 (5.0%削減)	72,104 (5.5%削減)	71,722 (6.0%削減)	71,340 (6.5%削減)
CO ₂ 排出量 A+B+C Kg		263,421	246,363	283,762	245,045	243,729	242,410	241,092
廃棄物の 排出量の 削減 kg		2,160	2,063 (4.5%削減)	1,961	2,052 (5.0%削減)	2,041 (5.5%削減)	2,030 (6.0%削減)	2,020 (6.5%削減)
上用水量 の削減 m ³		1,600	1,076 (3.0%削減)	1,074	1,694 (3.5%削減)	1,685 (4.0%削減)	1,677 (4.5%削減)	1,667 (5.0%削減)
非開削工法 の促進 m		500	500 (基準年度維持)	1,424	500 (基準年度維持)	500 (基準年度維持)	500 (基準年度維持)	500 (基準年度維持)
環境配慮製品の販売 IJJヨース・Iネアム等 台		60	74	192	76	78	80	82

その2) 工事現場編

本社・導管 ガサ・設備 各営業所の合計		基準年度 2014年目標	2023年 年間目標	2023年 実績	2024年 年間目標	2025年 年間目標	2026年 年間目標	2027年 年間目標
CO ₂ の 削減 排出	A ガソリン 使用量の 削減 ℓ	48,478	46,296 (4.5%削減)	64,797	46,055 (5.0%削減)	45,812 (5.5%削減)	45,570 (6.0%削減)	45,327 (6.5%削減)
CO ₂ 排出量 A kg		112,469	107,407	150,330	106,848	106,284	105,722	105,159

その3) 事務所編

本社・導管 ガサ・設備 各営業所の合計		基準年度 2014年目標	2023年 年間目標	2023年 実績	2024年 年間目標	2025年 年間目標	2026年 年間目標	2027年 年間目標
CO ₂ の 削減 排出	A ガソリン 使用量の 削減 ℓ	27,822	26,570 (4.5%削減)	22,884	26,430 (4.5%削減)	26,292 (5.0%削減)	26,152 (5.5%削減)	26,013 (6.0%削減)
CO ₂ 排出量 A kg		64,547	61,642	53,090	61,318	60,997	60,673	60,350

- ◇本社・導管・ガサ・設備・・・会計年度は11月～翌年10月
- ◇電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：大阪ガス電力 令和6年係数0.359Kg-CO₂/KgWhを使用している。
- ◇2014年度 実績に沿った数字に目標を全項目で見直し
- ◇2017年水道使用量を見直し



4. 主要な環境経営活動計画の内容



取組項目		活動計画の内容
CO ₂ の排出量の削減のために	電力消費量の削減	昼食時・休憩及び無人時消灯 電気ストーブ・P C・換気扇はこまめに電源OFF エアコン温度は業務に差し支えない程度に設定 プリンターは帰るときに電源OFF トイレの電気は使用時のみ 改装時、照明を一部LEDへ変更
	都市ガス使用量の削減	お湯の沸し過ぎ・沸騰後の放置、無駄遣いはしない 来客時・応接の予熱は控えめに 保温ポットの利用
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの推奨 急発進・急加速・空ふかしの禁止 タイヤ空気圧適正保持 不要な荷物は積まない・積載オーバーはしない 月報距離・給油をつける
廃棄物排出量の削減		古紙・缶・ビンの分類（リサイクルへまわす） アスファルトガラ・コンクリートガラの再利用 S R土・F K土の再利用
上水使用量の削減		水道水をだしすぎず、止水を確認する 洗濯物はまとめて洗いをする 消音機「音姫」の使用（設置事業所のみ） 雨水タンク設置の推進 地中漏洩箇所チェック
化学物質の適性管理		担当者を決め入出庫については記録を取る。
OA紙購入量の削減		内部の会議資料は裏紙使用 参加者多数のミーティング時の資料は「デジタル」にて 全員視聴にとどめる。
環境配慮製品の販売促進		戸建住宅へは「Eコジョーズ」の販売推進。 太陽光発電（PV）、エネファームの販売促進。 （2012年度より大阪ガス目標値にて実施）

工事現場等における環境配慮内容

取組項目	活動計画の内容
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別を持ち帰りを実施、建リにより大阪ガスへ返却 産業廃棄物、掘削土などのリサイクルを回収業者に要請 環境保護に協力的な回収業者を採用する。 非開削工法の推進（導管）
ガソリン使用量の削減	繁華街への移動は公共交通機関を推進 車両を軽自動車へ徐々に転換（共用にて台数削減）
化学物質の適正管理	液相ライニング硬化剤使用量を管理・集計しSDS（含有率）などから年間の特定化学物質使用量を算出する。



5. 環境経営活動結果の評価

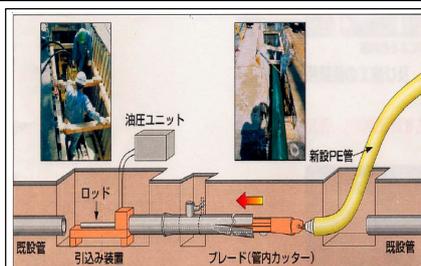


1) 事業所全体編

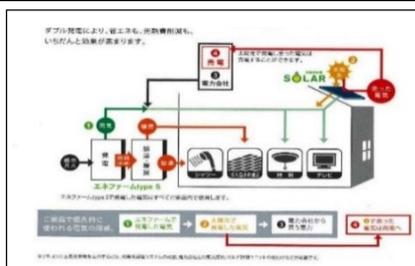
取組計画	結 果				評価 (今後の課題)
電気使用量の削減 kWh	<全体>	実績 / 135,465.0	目標 = 123,975.0	結果 = 109.3%	[評価: ×] 目標をオーバー ガス設備部門・設備部門の数値に顕著に表れており、重点的に対策を講じていく必要あり。
	<本社>	30,527.0 /	30,002.0		
	<導管>	31,281.0 /	42,684.0		
	<ガス設備>	47,542.0 /	32,234.0		
	<設備>	26,115.0 /	19,055.0		
都市ガス使用量の削減 m³	<全体>	実績 / 13,847.0	目標 = 14,326.0	結果 = 96.7%	[評価: ○] 目標達成 ガス設備部門・設備部門では未達成となっており、削減に努めていく。
	<本社>	0.0 /	301.0		
	<導管>	3,039.0 /	4,169.0		
	<ガス設備>	5,973.0 /	5,951.0		
	<設備>	4,835.0 /	3,905.0		
ガソリン使用量の削減 ℓ	<全体>	実績 / 87,681.2	目標 = 72,866.0	結果 = 120.3%	[評価: ×] 目標をオーバー 導管部門・設備部門の数値に顕著にみられる。人員配置の変更の影響もあると思われる。
	<本社>	11,445.4 /	13,116.0		
	<導管>	40,527.9 /	21,131.0		
	<ガス設備>	23,999.7 /	34,976.0		
	<設備>	11,708.2 /	3,643.0		
一般物排出量の削減 kg	<全体>	実績 / 1,960.6	目標 = 2,063.0	結果 = 95.0%	[評価: ○] 目標達成 ガス設備部門で若干のオーバーとなったものの、全体の目標は達成することができた。
	<本社>	110.6 /	146.0		
	<導管>	847.7 /	954.0		
	<ガス設備>	660.2 /	620.0		
	<設備>	342.1 /	343.0		
上水使用量の削減 m³	<全体>	実績 / 1,076.0	目標 = 1,702.0	結果 = 63.2%	[評価: ○] 目標達成 ガス設備部門の減少幅によって、大きく目標達成することになった。
	<本社>	82.0 /	75.0		
	<導管>	654.0 /	749.0		
	<ガス設備>	168.0 /	761.0		
	<設備>	172.0 /	117.0		
非開削の推進 (m)	<全体>	実績 / 1,424.0	目標 = 500.0	結果 = 284.8%	【導管事業部】 [評価: ○] 目標達成
環境配慮製品の販売 (台)	<全体>	実績 / 192.0	目標 = 74.0	結果 = 259.5%	【ガス設備事業部】 [評価: ○] 目標達成

2) 工事現場編

取組計画	結 果				評価 (今後の課題)
ガソリン使用量の削減 ℓ	<全体>	実績 / 64,797.5	目標 = 46,296.0	結果 = 140.0%	[評価: ×] 目標をオーバー 導管部門・設備部門の増加幅が顕著にみられる。削減に努め、しばらく静観する。
	<導管>	34,970.5 /	16,203.0		
	<ガス設備>	22,399.8 /	29,167.0		
	<設備>	7,427.2 /	926.0		
	全体の評価	感染症対策および人員配置の変更等、増加要因は多岐にわたるが今後の推移を注視する。			



■ 非開削工法
最小限の掘削でガス管を敷設



■ エネファーム
都市ガスで発電し、熱を給湯に利用

これからの地球環境に配慮。

年間約240kg-CO₂ (約13%)のCO₂排出を削減！
年間のエコジョーズ1台あたりのCO₂排出削減量約240kg-CO₂はユーカリの木26本が吸収するCO₂量に相当します。^{#1}

年間のCO₂排出削減量

エコジョーズ
省エネ給湯エコジョーズ
約240kg-CO₂/年^{#1}

アイリスオーヤマ
約40kg-CO₂/年^{#2}

#1 国土交通省省庁別CO₂排出削減率算出ツール「エコジョーズ削減率」(注: 給湯、2.2kWの燃焼ガス給湯器を省エネ給湯器に交換)。
#2 国土交通省省庁別CO₂排出削減率算出ツール「エコジョーズ削減率」(注: 給湯、2.2kWの燃焼ガス給湯器を省エネ給湯器に交換)。
#3 国土交通省省庁別CO₂排出削減率算出ツール「エコジョーズ削減率」(注: 給湯、2.2kWの燃焼ガス給湯器を省エネ給湯器に交換)。

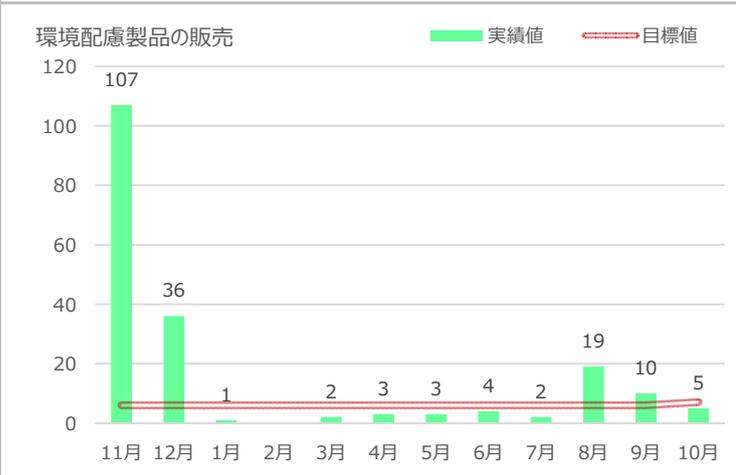
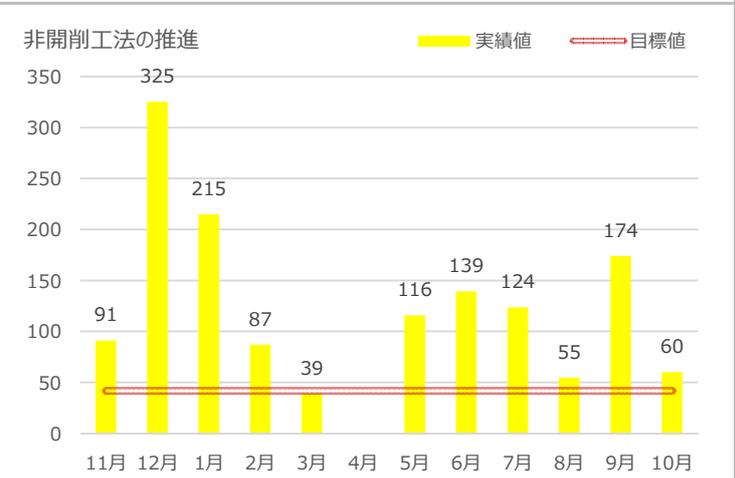
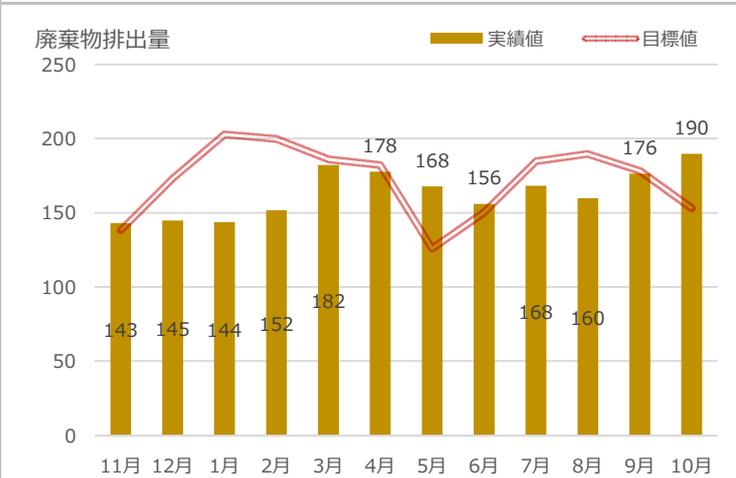
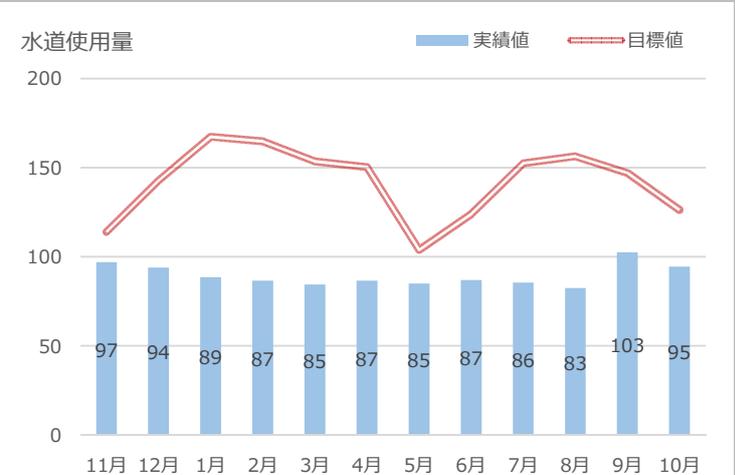
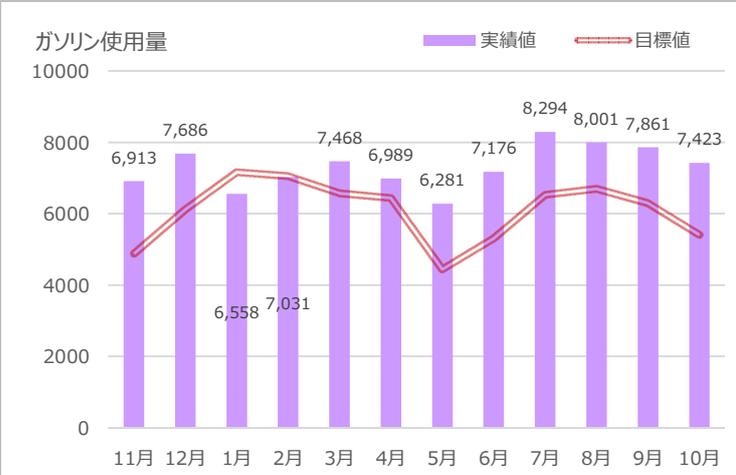
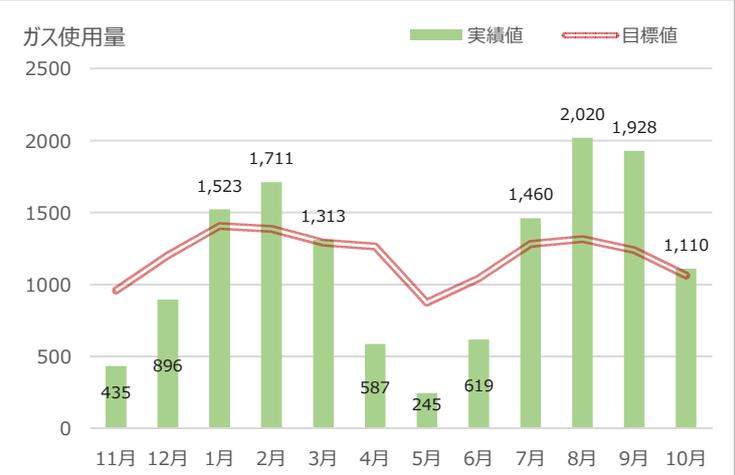
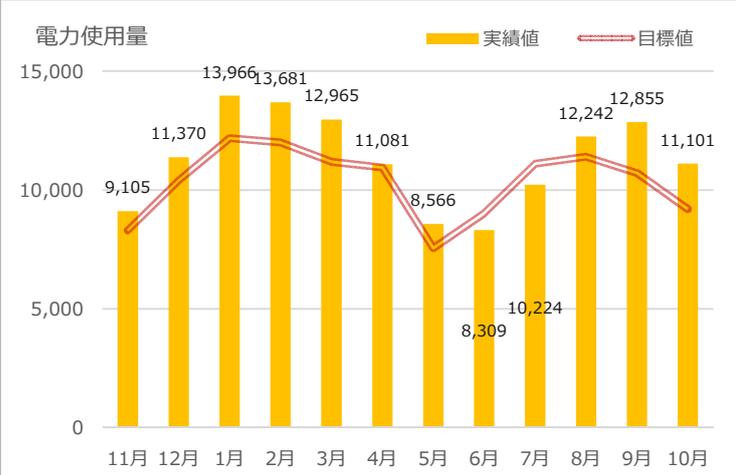
■ エコジョーズ
高効率ガス給湯器



6. 環境経営目標と実績比較

目標値と実績値をグラフに表します。

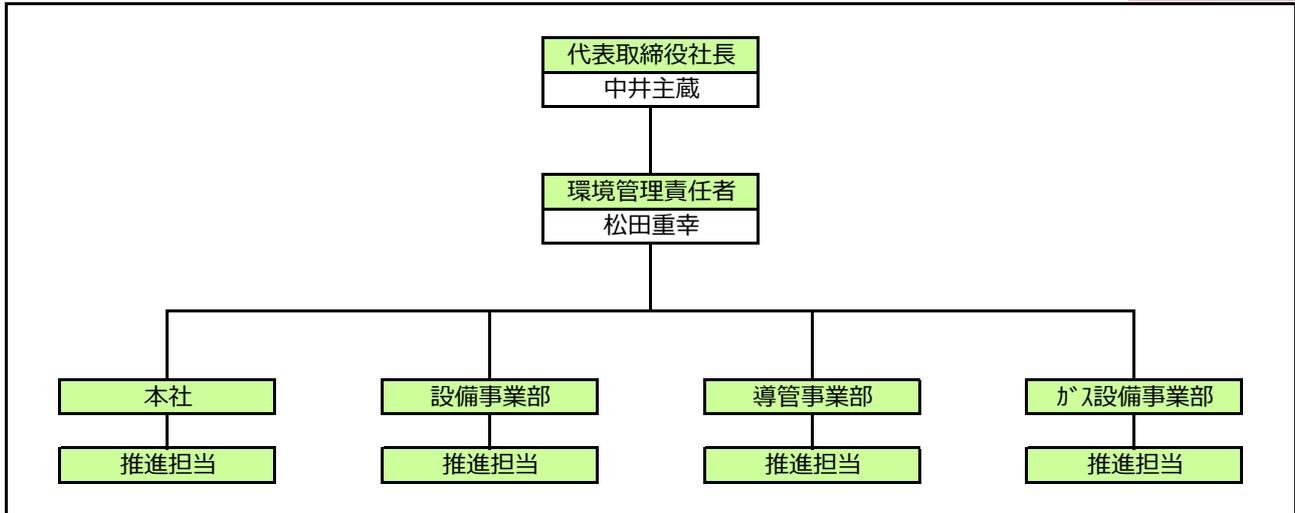
各々の単位は (電気：kWh ガス：m³ ガソリン：リットル 水道：m³ 廃棄物：kg 非開削：m 販売：台数)



7. 環境経営組織



実施体制



役割・責任及び権限

代表取締役社長

- ・ 環境経営システムの構築、マニュアルの制定及び承認
- ・ 環境経営方針・目標の策定及び見直し
- ・ 環境活動計画の承認
- ・ 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な資源の提供
- ・ 緊急事態発生時の統括

環境管理責任者

- ・ 環境経営システムの維持管理
- ・ 環境法規等の把握及び見直し
- ・ 環境活動計画の推進と実行及び計画の策定
- ・ 環境教育の実施と統括
- ・ 環境経営システムの見直しと達成項目の報告
- ・ EA21事務局の対応・推進担当者会の運営

事務局及び推進担当

- ・ 環境連絡の周知及び連絡
- ・ 環境法規等の把握及び遵守
- ・ 環境経営システムの維持推進の協力及び報告
- ・ 環境経営システムの運用及び記録
- ・ 緊急事態の発生時、その処理と是正及び報告



8. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無



1) 主な法規制

法律名	内容	適法性
地球温暖化対策の推進に関する法律	CO2の削減（エコアクション2.1の運用）	○適・否
騒音規制法	現場での適正な工事	○適・否
振動規制法	現場での適正な工事	○適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 （廃棄物処理法）	保管用表示板設置 マニフェスト	○適・否
道路交通法	道路使用の許可 アルコールチェックと記録	○適・否
資源の有効な利用の促進に関する法律 （改正リサイクル法）	事業者による効率的な回収（パソコン等） （リサイクル可能）	○適・否
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	テレビ・電気冷蔵庫・電気洗濯機・エアコンを 廃棄物として排出するときの適正引渡し	○適・否
建設工事に係る資材の再資源化等に関する 法律（建設リサイクル法）	発注者が知事への届出等、資料の準備と報告 建築解体廃棄物の再資源化促進	○適・否
使用済み自動車の再資源化等に関する法律	使用済み自動車の廃棄及び購入に当たっての 再資源化等の実施	○適・否
特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律 （オロード法）	対象車（フォークリフト）の基準適合ラベル貼り付けと 定期検査・日常点検の実施	○適・否
ポンプ類の使用の合理化及び管理の適正化 に関する法律（ポンプ排出抑制法）	業務用エアコンデンプン等の簡易点検 定期点検の実施・点検記録の保存	○適・否
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	液相ライニング剤使用量などの管理	○適・否
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	劇物（液相ライニング剤）の施設管理と劇物表示	○適・否
大気汚染防止法 （特定粉じんに係る規定）	事前調査・記録、保存の掲示 除去作業結果の保存・報告・発注者への書面報告など	○適・否
労働安全衛生法 （石綿則）	使用・保管する化学物質のリスクアセスメントの実施・記録保管・周知 事前調査・記録保存・掲示・除去作業結果の保存・ 行政への報告・作業従事記録の保存など	○適・否

2) 違反・訴訟等の有無

自社における環境関連法規への違反はありません。

関係当局から違反等の指摘は過去3年間ありません。

訴訟受けたことも一切ありません。



次回発行は2024年11月下旬の予定です。

代表者による全体の評価と見直し・指示の記録



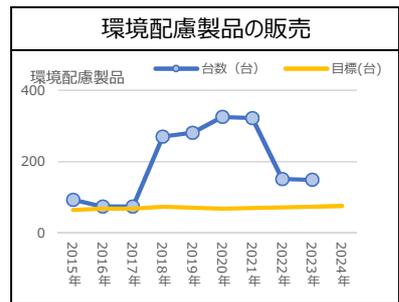
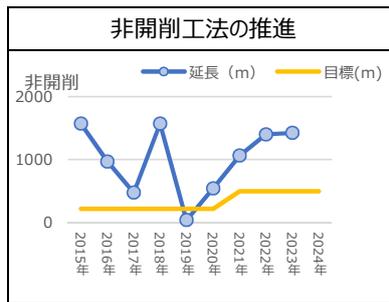
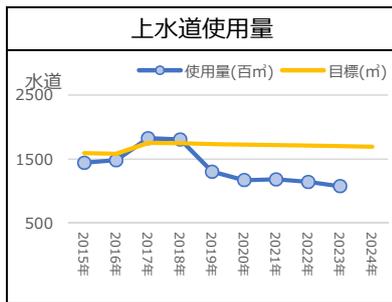
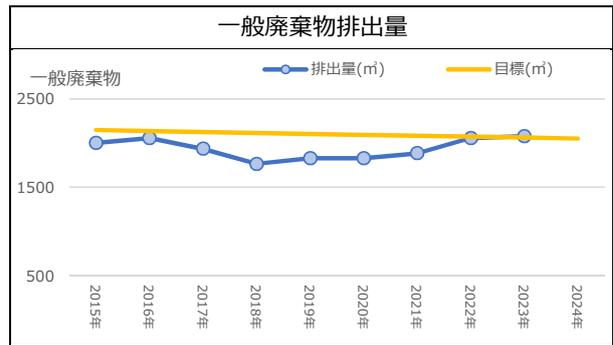
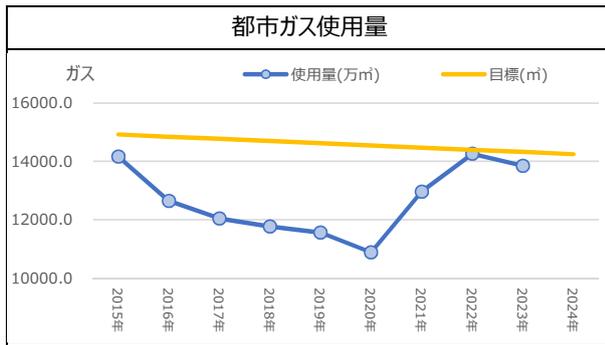
《環境経営方針》

当社の環境経営に関する基本的方向が明示され、環境関連法規の遵守も誓約されている。
 また、環境問題に対して継続的に取り組む環境負荷低減の取組項目も当社の事業活動に見合った内容である。
 現時点での変更の必要はないと判断します。

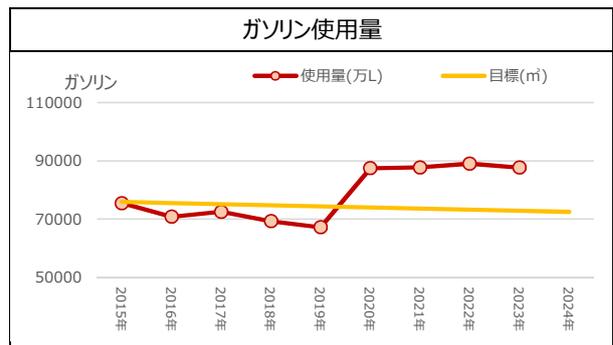
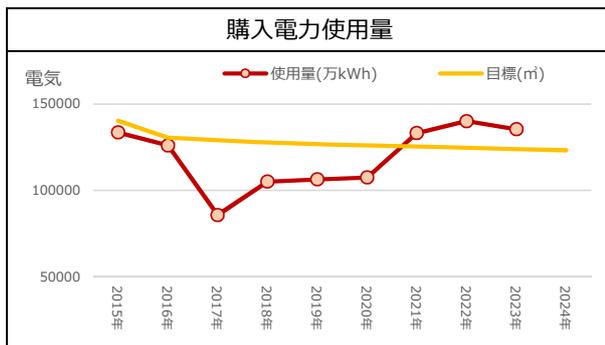
変更の必要性：有・無

《環境経営目標・環境経営計画》

目標達成した項目



目標達成できなかった活動項目



目標達成した項目

- 都市ガス使用量
- 一般廃棄物排出量
- 上水道使用量
- 非開削工法の推進
- 環境配慮製品の販売

廃棄物については、目標値ギリギリでの達成となっており、次年度以降注意が必要

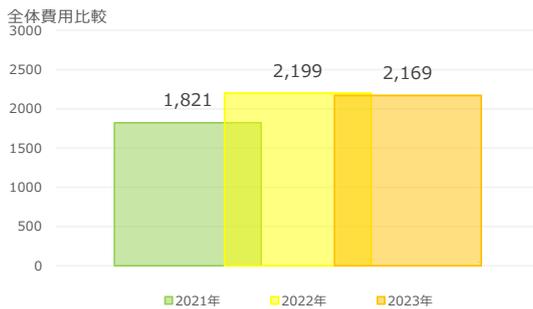
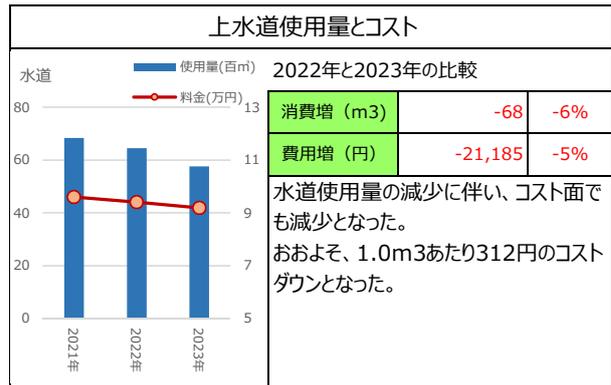
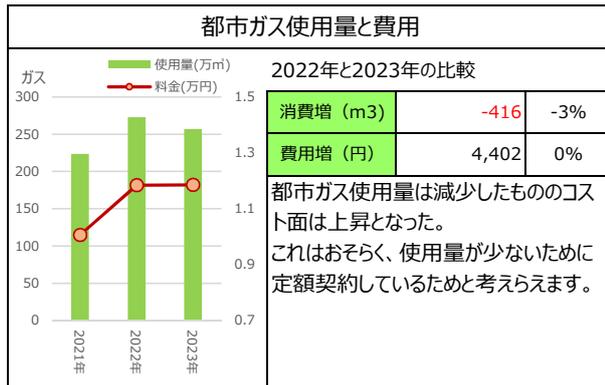
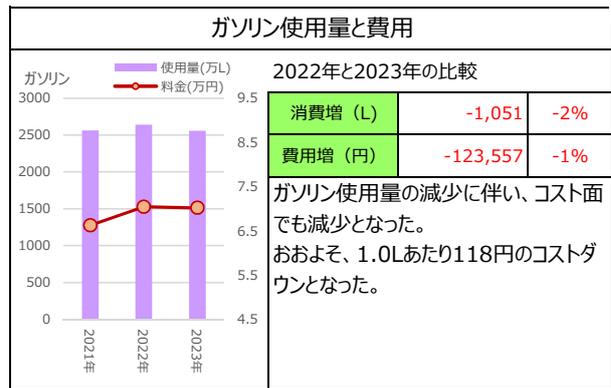
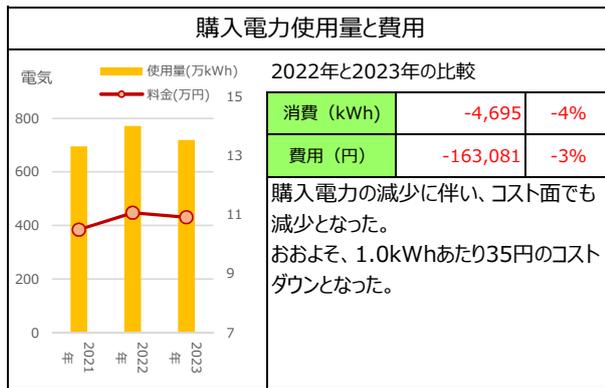
目標達成できなかった活動項目

- 購入電力使用量
- ガソリン使用量

購入電力使用量については昨年より減少の傾向が見られます。ガソリン使用量についても減少の傾向はあるものの、依然として目標達成は厳しいと見えます。原因としては、遠隔地での現場の発生や社用車の増加に伴うものと考えられます。目標値の再設定が必要かどうかは経過を見て見極める必要があると考えます。

変更の必要性：有・無

《環境経営の観点から経済効果》



昨年との費用差

	費用増 (円)
購入電力	-163,081
ガソリン	-123,557
都市ガス	4,402
水道	-21,185
全体	-303,421

上記、4項目（購入電力・ガソリン・都市ガス・上水道）全てにおいて昨年よりも使用量を削減することができた。それに伴い、費用面では、昨年対比で30.3万円減の98.6%となった。
エコアクション21のガイドラインの変更に伴い、経済効果を集計することになり3年目となります。今まで見えていなかった部分が見えるようになってきたと実感しております。
次年度以降も継続して見える化を進めていく。

変更の必要性：有・**無**

《実施体制》

現時点では、特に問題はなし。

変更の必要性：有・**無**

《総評》

2023年5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となり、社会・経済情勢の不安定さに落ち着きが見られるようになってきております。今年度はコロナ禍とコロナ禍後の両面を経験する中ではありましたが、「購入電気使用量」と「ガソリン使用量」で大幅に環境経営目標を上回る結果となりました。

一方、環境経営の観点から購入電力・ガソリン・都市ガス・上水道の4項目の使用量と費用を昨年度と比較しますと、微弱ではあるものの削減することができ、経済効果への影響も確認できるようになってきております。

2020年初頭からのコロナ感染症によるパンデミック、ロシアによるウクライナ侵襲、さらには中東での地域紛争など、様々な社会情勢の変化を経て「物の見方や捉え方」は大きく転換してきております。

近隣および地球規模の環境保全は、エネルギービジネスを中心に事業展開する弊社にとって極めて重要な使命であることに変わりはありません。ビジネスパートナーの皆様と共に、脱炭素社会の実現に向け環境経営目標達成へ着実に計画を推し進めてまいります。また、カーボンニュートラルの実現、SDGsの達成に向け、再エネ、省エネなどへの取り組みを進め、持続可能な社会の実現に全力で取り組んでまいります。

